

1. 経 過

昭和60年5月16日、大分県地域経済情報センターを事務局に発足
会長を後藤国利（白杵製菓会長、県会議員）で。
NTTさんや県の電算課長の応援を得て、、、

(目的) 様々な活動を通してパソコン通信を県内に広く普及、INS化の促進
に寄与する。

あわせて、県が推進する中小企業情報ネットワークシステムを使いこ
なすために今の内からパソコン通信、及びその利用法を研究する。

同年6月16日、パソコンをホストコンピュータとして実験システムを試動。

同年9月3日、ハードディスクを付加し（待望の）24時間運転を開始。

昭和61年1月、平松知事を特別名誉会員に迎える。

同年1月10日、NTT宮崎支社にてCOARAの兄弟システムとして
フェニックスシステムが稼働開始。

同年2月10日、会員数100名を突破。

同年2月13日、例会にて平松知事が名誉会長に就任。

同年4月より、大分県の61年度事業がスタート
「地域高度情報通信基盤開発事業」

同年7月20日、会員数200名を突破。

同年8月1日、ホストのシステムを「日本語電子会議システム」として新規スタート。
回線数を4回線に増設。パケット通信（DDX）サポート開始。

同年11月3日 会員数300名突破。

同年12月 COARAと同様の考え方で、仙台市（コミネット仙台）、
愛媛県松山市（TOWNタウン）がサービス開始。

昭和62年1月28日、会員数400名突破

同年4月24日 会員数500名突破

同年7月21日 新型・最新鋭・日本語電子会議システムCOARA-3稼働開始
回線数8回線で、地域ネットワークとしては国内最大級。

同年8月10日 会員数600名突破

同年10月28, 29日 秋のネットワーキングフォーラム全国大会の開催
(通産、大分県他後援)

同年11月4日 会員数700名突破

同年12月 通産省機械情報産業局の諮問委員会『電子ネットワーク委員会』
委員に、後藤国利会長任命される。

昭和63年1月9日 イギリスのジェフリー・ハウ外務大臣 名誉会員として入会

同年 2月10日 個人課金VAN Trip のサービス開始
(東京ノードが出来た!、全国にノードを持てた!)

同年 3月 個人課金VAN、TYMPASのアウトダイヤルサービス 開始

同年 4月1日 西瀬戸7県の自治体による、西瀬戸経済県会議開催

同年 4月10日 会員数800名突破

同年 4月22, 23日 東京で行なわれた、通産省、郵政省、両省後援の、
“春のネットワーキング・フォーラム”へ地域ネットとして参加

同年 5月28日、コアラ3周年例会にて、郵政省パソコン通信研究会専門部会の
皆様と懇談。

同年6月1日現在、会員数約870名。

2. コアラの特徴

国内に多くの同様システムがありながら、部外者の方々から注目され、評されるCOARAの特徴は、

- (1) . 第三セクターを事務局に官、民一体の初めてのグループである。
- (2) . 地方自治体として大分県、臼杵市、三重町が参加している。
広報公聴としても、平松知事、県議会コーナー等も。
- (3) . メンバー構成が幅広い。

年 齢 14歳(中学三年生)から84歳まで幅広いが、中心は30歳代

職 種 技術者、医者、会社経営者、アナウンサー、コンサルタント、弁護士、ライター、新聞記者、陶芸家、画家、公務員、教員、大学教授、薬剤師、県会議員、税理士、自営業者、司会業、航空管制官、会社員、OL、主婦退職者、等

業 種 コンピューターメーカー、ソフトハウス、テレビ会社、新聞社
卸し業(薬品、玩具、食品、電気機器、衣料等)、食品製造、酒類製造、機械加工、精密機械、結婚式場、ガス製造、製菓、小売(花、本、石油、衣料等)、銀行、航空、運輸、雑誌社、建設、建設関連、飲食、貴金属回収、通信、郵便、自治体、青年会議所、広告代理店、漁業、農業、ボランティア団体、等

地域的にも、ローカルネットでありながら、北海道から沖縄、海外にも。

- (4) ユニークな運営
(例会、アルバムCOARA、オフライン部隊、ボランティア思想)
- (5) 早めにデータベース・サービスからコミュニケーション・サービスへと方向転換
- (6) 日本で初めて、地域ネットワークとしてDDXを導入
- (7) 日本で初めて大規模ネット、他ネットとのボード内容の交換を行なった
- (8) お嬢様クラブ、おねえさまクラブの発足・・・女性の活躍が目だつ
- (9) 日本で初めて、本格的日本語電子会議システム導入
(COARA-2, 3)
- (10) 日本で初めて、電波とドッキング
(NHKFMリクエスト、サンデー大分；テレビ)
- (11) 数かすのヒット会議あり・・・子育て会議、喫茶コアラ
他ネットの標準品
- (12) 日本で初めて海外から日本語で通信させようとマジメに考えた
- (13) 日本で初めて、通産省の<地域ネットワークシンポジウム>を開催
- (14) 有識者の参加が多い
(大学の先生、コンサルタント、ジャーナリスト、、、)

- (15) 外国の大臣が会員になっている唯一のネット？
- (16) コアラのシステム・考え方を受け継いだネット
.....NTT宮崎、仙台、愛媛、NHK、、、、
- (17) 地域ネットワークのはずなのに、東京のネットと同様に、
ホスト局地域外会員が50%を越す
- (18) 地域ネットワークとしては設備的に国内最大級。
- (19) 通産省の電子ネットワーク委員会の委員に後藤会長が任命される。
- (20) 郵政省のパソコン通信研究会に、地方事例としてヒヤリングを受けた。
- (21) 日本で初めて、地域ネットワークとして個人課金VANを導入
- (22) 西瀬戸7県の自治体の合同電子会議“西瀬戸経済圏会議”開催中
- (23) 通産／郵政の初ドッキングによる春のネットワーキング・フォーラム
に、地方ネットワークとしても積極参加
- (24) 通産省の公式会議『日本の貢献／電子フォーラム』を開催
- (25) 郵政パソコン通信研究会／専門部会の大分開催を、お手伝いさせていただいた。